

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900623		
法人名	医療法人 恵心会		
事業所名	グループホーム めぐみ		
所在地	北海道旭川市錦町19丁目2166番地の149 (電話) 0166-55-2320		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年3月24日	評価確定日	平成20年4月1日

【情報提供票より】(平成20年3月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)12年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 8人, 非常勤 1人, 常勤換算	5.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	11,700~19,200 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月13日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	2名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 88歳	最低	77歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらい内科クリニック
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域に密着した母体医療法人を中核とした総合複合福祉施設の中のグループホームで、利用者、家族が地域に永く住んでおられる方が多く、安心感があり信頼関係が構築されています。近隣住民や地域の人達が参加する地震避難講習や子供110番の指定箇所を受けるなど地域との交流も積極的に行われています。また、ホーム内では、利用者が共用スペースに集まり談笑や利用者同士助け合い支えあうための支援が行われていたり、職員と会話を楽しみ笑い声が聞こえる家庭的な雰囲気を出しています。職員間の関係も良好で、活発な意見交換やケアサービスの質の向上のための情報の共有も行われ、利用者の思いや意向を尊重した取り組みが行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、緊急時の対応について定期的な実施が改善点として見出されていましたが、緊急時に速やかに対応できるように実技を伴う救急救命の訓練や火災避難訓練が定期的に行われています。
重点項目	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、全ての職員が参加して自己評価は行われサービスの改善に活かされています。外部評価の結果については、運営推進会議に報告され意見交換されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は、評価日現在5回実施されています。議題については 前回推進会議での意見・要望についての報告 2ヶ月間の活動内容について 通所介護について 末期癌について 意見交換について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族は、地域に在住されている方達が多く利用料の支払いを毎月持参戴くので、来訪時には、日常の生活の様子や健康状態など情報を伝えたり、家族の意見や要望、不安への対応が日常的に行われています。また、そこでの意見や要望が運営に反映されるよう取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	交通安全パレードに利用者や職員が参加したり、近隣住民や地域の人達が参加する地震避難講習や子供110番の指定箇所を受けて日常的に地域との連携が行われています。また、地区の社会福祉協議会主催の地域ニーズに基づく交流会などに参加して、地域の高齢者のニーズがどこにあるのか把握に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体医療法人の理念、グループホームの運営理念に地域とのかかわりを大切にする事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、会議や日常業務を通じて理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣住民や地域の人達が参加する地震避難講習や子供110番の指定箇所を受けて日常的に地域との連携が行われています。また、地区の社会福祉協議会主催の地域ニーズに基づく交流会などに参加して、地域の高齢者のニーズがどこにあるのか把握に努めています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しており、全ての職員が参加して自己評価は行われサービスの改善に活かされています。外部評価の結果については、運営推進会議に報告され意見交換されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在5回開催されている。委員は、利用者、家族、地域の代表（薬局薬剤師）、他施設の介護支援専門員、管理者及び職員で構成され具体的に活動に取り組んでいる。</p>		<p>今後はさらに、具体的な活動で活発な意見交換を行い、サービス向上に活かせる取り組みが検討されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性については十分理解し、サービスの質の向上に日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、行政や包括支援センターの協力を得ながら、日ごろより地域の人達の協力が得られるような取り組みが計画されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族は、地域に在住されている方が多く利用料の支払いを毎月持参戴くので、来訪時には、日常の生活の様子や健康状態など情報を伝えたり、家族の意見や要望、不安への対応が日常的に行われています。また、金銭管理についても毎月報告されている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>来訪時に家族との意見交換や運営推進会議でのホームの活動の報告や運営についての話し合いなど日常的に対応が行われています。苦情等の受け付けについては、ポスターを掲示するなど啓発している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内部での新人研修の実施やグループホーム連絡協議会やケア研究会、厚生病院、社会福祉協議会などの外部の研修参加が奨励され実施されている。また、研修参加者の報告書提出でフォローアップされている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム連絡協議会やケア研究会で施設との意見交換や交流が積極的に行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、利用前には、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者一人ひとりの思いや意向を把握する取り組みや生活歴を把握するなど本人と共に支えあう関係構築に努力している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの思いや意向の把握に取り組んでいる。また、入浴や食の嗜好の把握、外出や趣味への支援、地域の行事への参加など本人の希望や意向を尊重した取り組みが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画は作成されて利用者、家族の希望や医師からの助言、担当者会議で職員からの意見を取り入れ具体的になっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員が中心となって、定期的に担当者会議を行い見直しを実施している。また、状態変化時には、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、母体法人との医療の連携や気分転換のための支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	母体医療法人や主治医との連携で気軽に相談できる医師・看護師が確保されている。また、往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人・家族の意志が確認され、職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した声かけや個人情報の記録の扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの希望や思いを把握して、散歩や買物などの外出の支援や楽しみごとの支援で思い思いの生活が送れるように支援している。また、利用者同士会話を楽しみ笑い声が絶えないのが印象的でした。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、料理の準備や片付けを職員と利用者が一緒になって行っている。また、食欲も旺盛で楽しんで和やかな食事風景でした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴が楽しめるように支援されている。また、週2回～3回を目安に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され調理の準備、パズルやトランプなどの楽しみごとや散歩や買物など気晴らしの支援がされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩、大型スーパーでの外食、神楽岡公園や常盤公園の散策など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、日中鍵をかけずに開放している。また、利用者が外出する時は、職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置されて、火災避難訓練や救急救命訓練が定期的実施され緊急時に備えられている。</p>		<p>今後は、日ごろより地域の人々の協力が得られるよう、火災避難訓練や救急救命訓練に参加して戴けるように働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士によるメニューが作成され、個別の嚥下状態などによる支援も実施されている。また、具体的な食事や水分の摂取量も把握されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が気になる音の大きさや臭い、光の強さは感じられない。共用空間の壁には、職員と利用者の手作りの季節毎の桜の木々などの季節感を味わえる作品が飾られている。また、リビングでは利用者が集い、談笑したりゲームをするなど思い思いに過ごしている。また、地域には大型スーパーや幹線、高速道路のインターチェンジがあり、交通の利便性に優れている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族の写真や観葉植物が飾られたり、使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。